

3月「19の日」行動

ウクライナへの侵略を利用した改憲策動を止めよ！
市民と立憲野党は憲法・命・暮らしと平和を守ろう！

岸田政権は維新の会・国民民主党などと共に、憲法審査会を開催して国会の開催要件の法解釈を決めようとしています。こんな事が許されれば審査会の構成によって憲法解釈が可能となりかねません。さらにロシアのウクライナ侵略を利用して、核兵器の威嚇や所持、また軍事力保持とその強化を進めようとしています。被爆国日本の核武装など許されません。



これまでも国会の三分の二を改憲勢力が握る事が在りましたが、世論と市民の運動が、立憲野党と共闘し、政治の暴走を阻んできました。今こそ、改めて改憲を許さない国民世論を高めることが求められます。コロナの感染爆発による医療崩壊、自宅療養という名の治療や生活支援の放棄は、自公政権による「人災」です。莫大な防衛費を計上による大軍拡はゆるされません。憲法にもとづく命と暮らしを第一にする政治への転換が必要であり、知事選挙でも知事の姿勢が問われています。

新たに提起された、「改憲に反対し市民の命と生活を守るための新署名」の取り組みを進め、多くの市民との対話を開始しましょう。

とき **3月19日(土)**

午後4時30分～ 街頭演説

スタンディングアピールのみ、デモは中止します

ところ 京都市役所前(御池通側歩道)

呼びかけ 京都憲法共同センター

【お知らせ】 同日5時10分頃から市民団体呼び掛けのウクライナ侵略反対のデモが行われます。19日行動は5時頃に終了します。デモの参加についての判断は各団体個人で慎重に行ってください。